

2025年6月11日施行

金城学院大学（以下「本学」という。）は福音主義のプロテスタント・キリスト教に基づき、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する女性を養成することを目的としている。

この目的のもと研究活動を展開していくためには、本学で研究活動を行う者が高い倫理規範を有すること、及び研究活動の社会に対する信頼性を維持することが必要不可欠である。

そこで本学は、研究活動によって生み出された研究データを適切に管理及び公開することにより、学術研究のさらなる発展と社会への還元を進めるため、金城学院大学研究データ管理・公開ポリシー（以下「本ポリシー」という。）を定める。

（研究データ）

1. 本ポリシーが対象とする「研究データ」とは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集又は生成された情報を指し、デジタルか否かを問わない。

（研究データの管理主体）

2. 本学は、原則として、研究データを収集又は生成した研究者がその研究データの管理を行う権利と責務を有していることを認める。

（研究者の役割）

3. 研究データの管理、公開並びに利活用の方法は、それを収集又は生成した研究者が法令および本学の規程その他これに準ずるものの範囲内、並びに他の者の権利及び法的利益を害さない範囲内において、決定することができる。

（研究データの公開と利活用）

4. 研究者は、それぞれの研究分野の特質を踏まえ、その法的及び倫理的要件に従って、可能な限り社会に研究データを公開し、その利活用を促進する。

（大学の役割）

5. 本学は、研究データの管理及び公開を支援する環境の整備を推進する。

（ポリシーの見直し）

6. 本学は、社会や学術状況の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。